

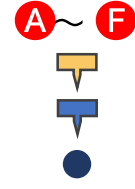


作中に登場するおーづ先生こと
小津安二郎の足跡を
著者 **児島秀樹氏**がたどる

おーづせんせい

散策マップ

小津の足跡
珍布峠案内板
観光看板
名所



飯高駅[★印]発着の所要時間(徒歩目安)

- ① 櫛田川コース(緑色) 約1.8km-約40分
 - ② 珍布峠コース(青色) 約4.3km-約85分
 - ③ 赤桶コース(桃色) 約6.7km-約135分
- ※休憩や見学時間を含め余裕を持って散策して下さい

めづらしとうげ
【珍布峠】



はなおかじんじや
【花岡神社】



みやまえじんじょうしょうがっこうあと
【宮前尋常小学校跡】
(現 松阪市飯高老人福祉センター)
【小津安二郎資料室】



あこぶんきょうじょうあと
【赤桶分教場跡】



みずやじんじや
【水屋神社】



くしだがわ
【櫛田川】



児島秀樹氏により執筆された「おーづせんせい」は、小津安二郎が松竹キネマに入社する前、19歳の時に宮前尋常小学校(現 松阪市飯高老人福祉センター)で代用教員として過ごした1年間を生き生きと描いています。日本が世界に誇る小津映画の原風景は、代用教員時代に見たものではなかったのでしょうか？!

制作協力: ©徳間書店

著者児島秀樹氏



道の駅「飯高駅」

飯高駅を起点に散策を楽しめます

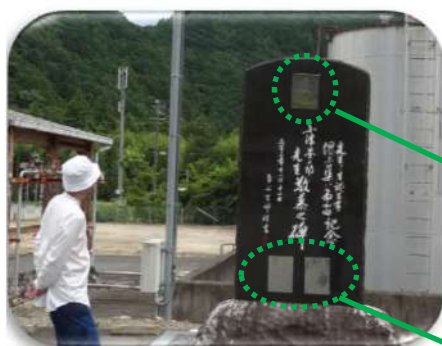
駐車場Pやトイレの利用が可能です
(トイレは飯高駅で済ませて出発すると良いでしょう)
食事処やお土産店、香肌峡温泉も利用ください

《お願い》

- ・散策の際は車両の利用をお控え下さい
- ・車やバイクは駐車場へとめて下さい
- ・地域の方々に配慮ある行動を心掛け 人家の近くは静かに通行しましょう
- ・私有地へは立ち入らないで下さい
- ・トイレ施設以外で用を足す事はしないで下さい
- ・ポイ捨て禁止、ゴミは各自で持ち帰りましょう
- ・路上喫煙はやめて下さい

みやまえじんじょうしょうがっこうあと
【A 宮前尋常小学校跡】

小津が代用教員として1年間勤務した小学校跡
現在は[小津安二郎資料室]があり思い出の品が数多く展示されている



敷地内にある[敬慕の碑]は小津が下駄で登った局ヶ岳が映るように建立されている



下宿でマンドリンを弾く小津の姿



教員時代の教え子に宛てた暑中見舞いが刻まれている

資料室にある宮前尋常小学校の模型



小津安二郎資料室

三重県松阪市飯高町宮前704-2

松阪市飯高老人福祉センター内

10:00～15:00

祝日を除く月～水・金曜、12/29～1/3 閉室

(このほか松阪市飯高老人福祉センターが定める休館日)

※書籍『おづせんせい』をお買い求め頂けます

(品切れの際はご容赦ください)



無料駐車場がご利用いただけます



道の駅「飯高駅」

三重県松阪市飯高町宮前177

お土産『いいたかの店』 9:00～18:00

6、12月の第2水曜、12/31～1/1定休

お食事『レストランいいたか』 11:00～19:00

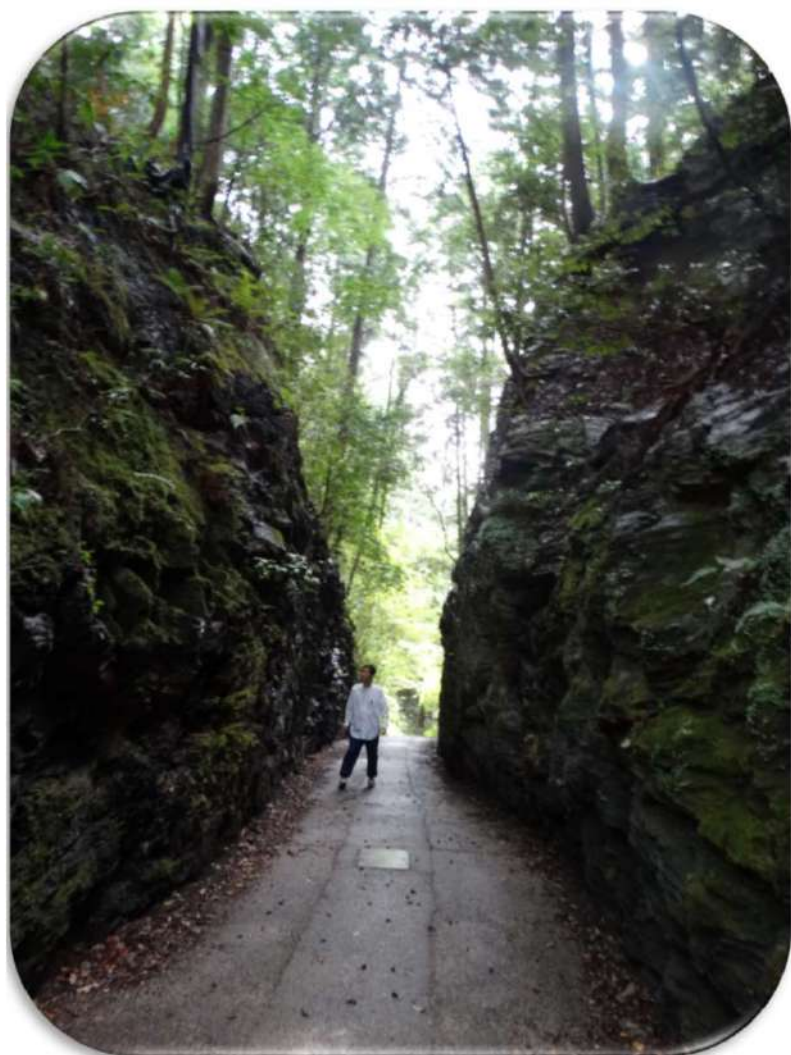
水曜(祝日の場合は営業、翌平日休)、12/31～1/1定休

※営業内容の詳細は[飯高駅ホームページ]にてご確認ください

めずらしとうげ
【C 珍布峠】

赤桶地区に住む子どもたちの通学路となっていた峠
源太と哲夫が決闘した時に天狗と遭遇した場所でもある

切通の大岩は見応えがあり、ここで天照大神(あまてらすおおみかみ)と天児屋根命(あまのこやねのみこと)が出会ったとされている

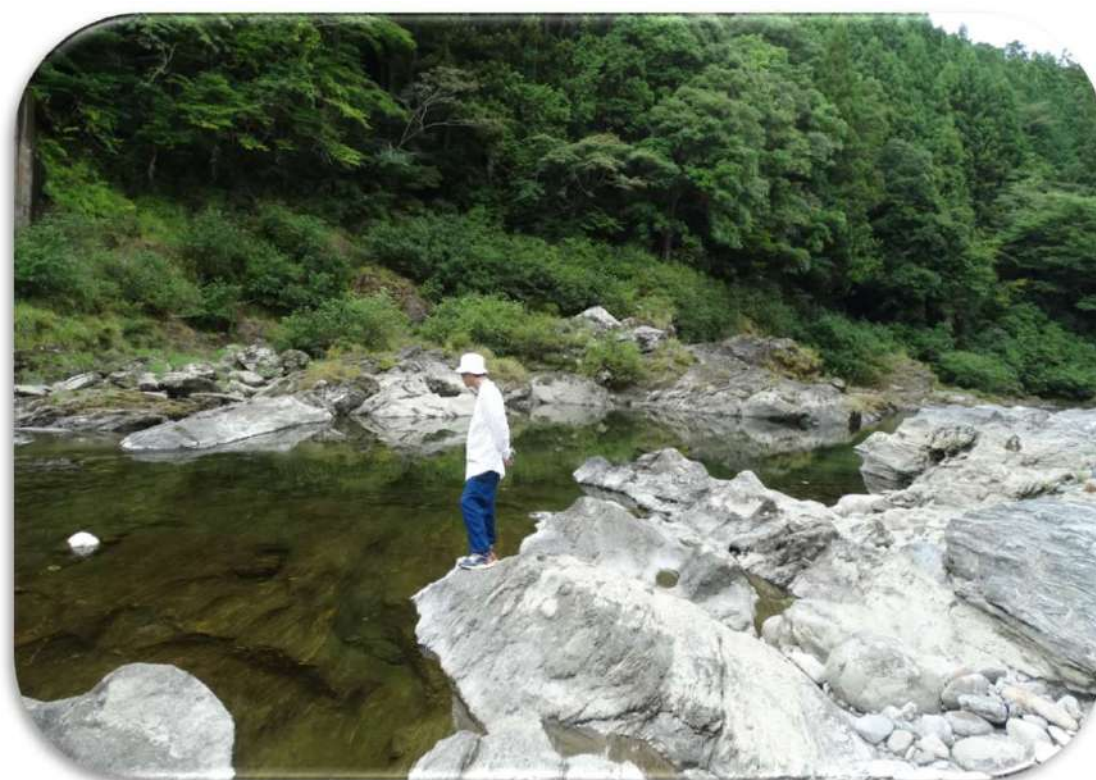


峠には小さなお地蔵さんも!



くしだがわ
【D 櫛田川】

宮前村を沿うように流れる清流で小津も度々釣りを楽しんだ
小津の話をもとに子どもたちが河童を探した思い出の場所でもある



みずやじんじや
【E 水屋神社】

赤桶地区に住む子どもたちの遊び場となっていた神社
定吉たちが学校を抜け出して神社の餅まきを楽しんだ



あこうばんきょうじょうあと
【F 赤桶分教場跡】

赤桶地区の子どもたちが四年生まで学んだ分教場の跡地



現在は門柱が残るのみ